

# 静学館

SEI-SHU

特集

LEARNING COMMONS OPEN !

## CONTENTS

- 02 : LEARNING COMMONS OPEN !
- 05 : Message From Support Desk
- 06 : Talking About Learning Commons
- 08 : 京都大学図書館統計
- 12 : 図書館・室からのお知らせ



Learning Commons

京都大学附属図書館

LEARNING COMMONS

OPEN

# Question

噂の「ラーコモ」、どんな使い方をしてしていますか？



## A.1

ブレインストーミングをしながら授業指導モデル案を作成中です。

法学研究科のこちらの方々は何と現役の高校教員さん！ラーコモの移動式机の上に付箋やノートを広げて熱く議論中でした。座り心地のよいクッション椅子ならきっと議論もはかどるはず。

## A.2

みんなでスペイン語の勉強です。

経済学部1回生のグループ。みんなでノートを広げて語学の勉強中。電子辞書の音声読み上げ機能を積極的に使っておられました。「音を出しているスペースはありがたいです」とのこと。お互いに教えあうことできっと理解度もUP！



## A.3

プレゼンテーションの練習です。

ラーコモ壁面にあるホワイトボードにプレゼン画像を投影して議論していたのは地球環境学舎の院生さんたちのグループ。ラーコモではプロジェクターや接続コネクタなど、議論に必要な機器の貸出もしています。ご存知でしたか？

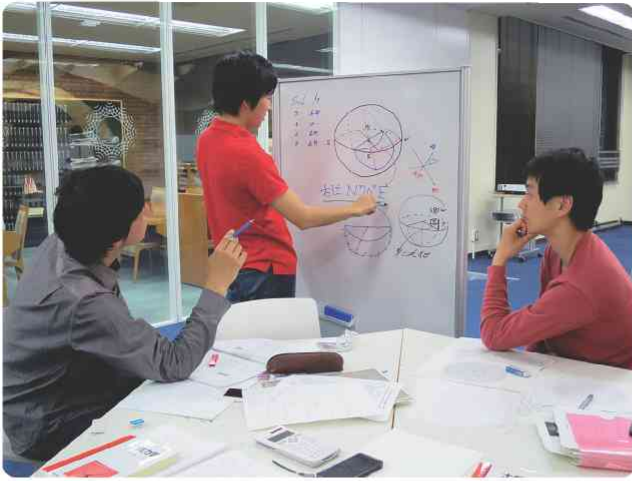


## A.4

来週ある授業の課題プロジェクトの発表準備をしています。

留学生の方々が議論中のところをお邪魔しました。「ホワイトボードや移動テーブル、あと電源が自由に使えるのが便利です」さらにラーコモには留学生の学習支援のための「学習サポートデスク」もあります！そちらも活用してくださいね。





## A.5

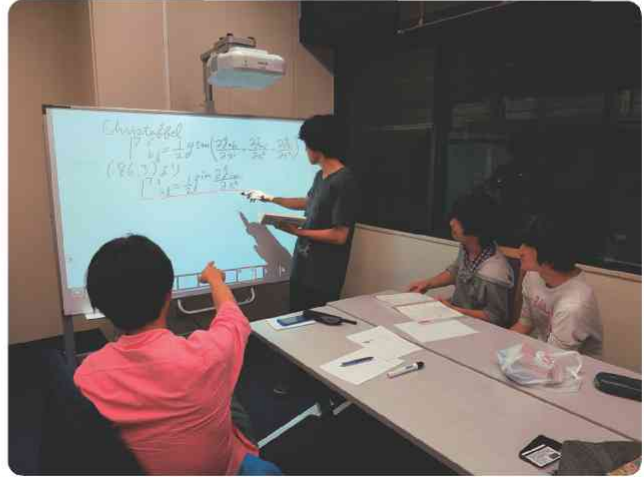
レポートの課題をしています。

工学部3回生のグループが図式を囲んで議論中。「ホワイトボードを使って議論できる空間は有難いですね」ラーコモの移動式ホワイトボードは人気アイテムのひとつ。アイデアを共有するための手軽なツールとして活用されています。

## A.6

サークルの自主ゼミです。

工学部・理学部の学部生を中心としたこちらのグループ。「とりあえず試しに使用してみようと思って」と、電子黒板を利用中でした。実はこの電子黒板、描いた画面をそのままPCに取り込める優れたモノなんです。みなさんも「試しに」どうぞ。



## A.7

授業に向けて勉強中です。

チューターの情報学研究科の院生さんが留学生に指導中。大型ディスプレイにノートPCを接続してプログラム画面を表示させ、移動式ホワイトボードも併用し解説をしておられました。ラーコモの設備はその組み合わせも使い方も自由自在です。

## A.8

自主勉強会をしています。

経済学部1回生のみなさんがお勉強会中。「数式を書くので、横長のホワイトボードは便利ですね」このラーコモ名物の壁面大型ホワイトボード。プロジェクターと組み合わせれば、巨大スクリーンに変身！プレゼンの練習にも使えますよ。



附属図書館1Fに今春オープンしたラーニング・commonsは、教職員や学生の多様な学習を支援するためのスペースです。組み替え自由な机や移動式のホワイトボード、プロジェクター、電子黒板等の設備も充実しており、多くの方にご活用頂いています。図書館主催の講習会も随時開催中。まだ利用されたことのない方は是非一度、足を運んでみて下さい！

# Message From Support Desk

「学習サポートデスク」では、様々な分野の大学院生スタッフが図書館利用や学習に関する相談に対応しています。今春からはラーニング・コモンズ内に移動し、資料の探し方からレポート作成、プレゼンテーションの進め方まで、ラーニング・コモンズの利用ともあわせて、より身近に相談できる環境となりました。ぜひご利用ください。

日本語での研究を英語で発表する際には、内容の提示順を大きく変更する必要があります。お困りの方はお声をおかけ下さい。ラーニング・コモンズにはプレゼンに役立つ本がたくさん揃っていますので、デスクで一緒に取り組みましょう。

H.O (人環M2)  
Language : 日・英  
Major : 言語学

附属図書館は、用途別に様々な学習環境が整っています。グループ学習には、1階のラーニング・コモンズ。高い集中力を要するときは、3階のサイレントエリア。図書館閉館後も自習したいときは、学習室24。状況に応じて使い分けてみてはいかがでしょうか？

N.N (経営管理M2)  
Language : 日・英  
Major : 国際開発

京大図書館では、学習や研究のための豊富な文献を取り揃え、データベースも充実しています。図書館をどれだけ有効活用できるかが、レポートや論文の質を左右するといっても過言ではありません。図書館利用で困ったときには学習サポートデスクにお気軽にご相談ください。

A.F (人環M2)  
Language : 日・英・スペイン語  
Major : 言語学

ラーニング・コモンズ。自由に会話できる学習の空間です。電子ホワイトボードなど学習をサポートする電子設備が豊富。皆様の勉学生活がより豊かなものになるよう、どんどんラーニング・コモンズを愛用してください！

J.G (人環D4)  
Language : 日・英・中国語  
Major : 日本文学

どんなことでも基礎から始めた方がいいと思います。研究生活を始めたばかりの皆さんはまず図書館のツアーやレクチャーに参加して、資料収集の仕方について色々学んでおかないと後に余計な努力をしてしまいます。私は集めた資料を最初からRefWorksに記録しなかったことを今でも後悔しています。

Z.S (人環D2)  
Language : 日・英・ハンガリー語  
Major : 日本文学

文系の論文ではどれだけの先行研究を読み込むかが重要になります。図書館の相互利用カウンターやデータベースを駆使することで思わぬ資料が簡単に手に入ることがあります。講習会に参加してサービスを理解し効率的な資料収集をしてみてもいいかもしれません。

K.N (AA研D3)  
Language : 日・英・インドネシア語  
Major : 地域研究

## Info. 学習サポートデスク

- 場所：附属図書館 1階 ラーニング・コモンズ内
- 受付時間：平日 13:00-19:00
- 相談例：図書や雑誌の探し方  
レポートの書き方  
データベースの利用方法 など

※全てのスタッフが日本語、英語対応可能です。  
※詳細は「図書館機構 HP > 学習 / 研究サポート > 学習サポートデスク」よりアクセス

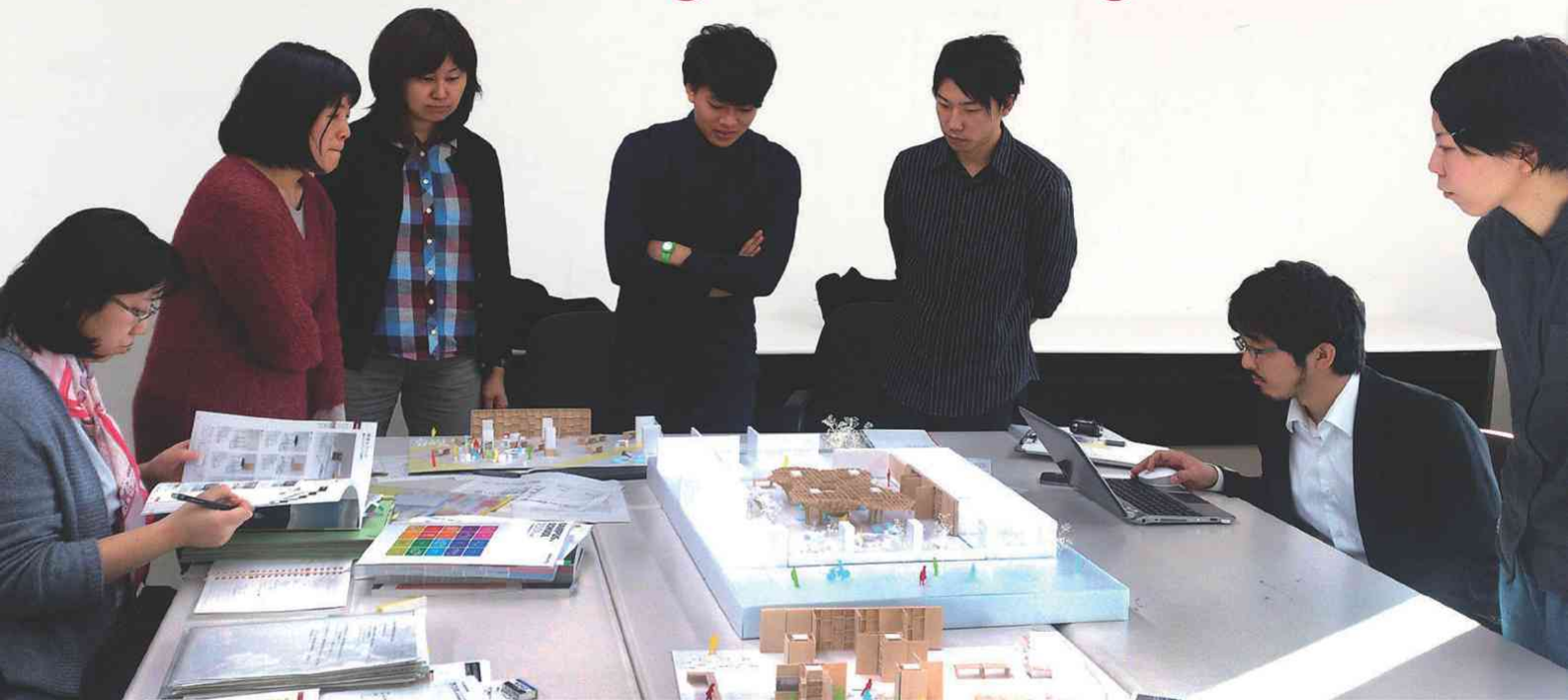
詳細



Facebook



# Talking About Learning Commons



今回の特集では、2014年4月25日に附属図書館1階に登場したラーニング・コモنزのデザインに関わって下さった皆さんから、デザインのプロセスと、今後の使われ方についての希望をお寄せいただいた。

ラーニング・コモنزは、国内では2000年以降に大学図書館やキャンパス内に登場するようになった新しい空間である。図書館に設置される場合は、対話による学びを可能にするスペースの提供で、資料と利用者をつなぐ従来の役割に加え、人と人をつなぎアクティブラーニングを支援する役割が期待される。

なぜ対話が重要なのか。立場や目標の違うメンバーの対話は可能なのか。対話が生み出す学びとは何なのか。実をいうと私自身は、これらの問いに漠然とした答えしかないまま、「平成25年度京都大学学術情報メディアセンターコンテンツ作成共同研究」に応募し、対話のきっかけを模索するところからプロジェクトに関わりはじめた。その後、大学生、大学院生、図書館員、教員の皆さんの半年間におよぶ連日の対話によって、ラーニング・コモنزが一步步形づくられていく過程を目の当りにし、「対話」という行為の持つ可能性を強く信じるにいたった。

多くの方の対話が形になった附属図書館のラーニング・コモنزは、実験場でもある。このスペースで行われる対話や、また新たな学びや知を生み出していくことを願っている。展示のように言葉以外の対話にも使えるスペースなので、皆さんからの提案もお待ちしている。そして、学びの過程で相談相手が必要な場合は、学習サポートデスクに声をかけてほしい。

—— 北村由美（附属図書館研究開発室 准教授）



「ラーニング・コモنز」は図書館職員、教員、学生のコラボレーションによって成立し、私たちは空間設計に携わった。数多くの人々と一丸となって、所属や専門領域を横断したデザインの間を作り上げた。チームが一つのテーマについて話し合い実現へ向けて共に歩いていくプロセスは想像力を掻き立てるものであり、私たちはその中で、現場の意見を整理し、諸条件をクリアしながら空間設計を進めた。

空間デザインとしては、従来の図書館学習とは異なる能動的な学修、対話を促すことが求められた。私たちは「既存の4本の柱」、「既存書棚」と呼ぶように、均質な図書館空間にやわらかな曲線のデザインを挿入し、互いに緊張感を持った状態で共存させた。天井からの余白を持ち、照明に照らされ美しい陰影を描き、光の揺らぎのある知の空間を創りだしている。

—— 太田裕通 北村拓也（大学院工学研究科建築学専攻）

京都大学に「ラーニング・コモンズ」ができた。「対話を根幹とした自学自習」を教育の基本理念とする京都大学で、ようやくそのための学習環境が生まれたことになる。日本最大級を誇る同志社大学や大阪大学のラーニング・コモンズに比べると、規模は決して大きくない。だが、時計台前のクスノキのように人が自然と集まりたくなるような、そしてそこで学びが次々に創発されるような空間になってほしいものである。ハコそのものよりも、それがどう使われるか、そこでどんな学びが生み出されるかが重要なことから。

あわせて、サイレントエリアができたことも喜ばしい。スーザン・ケインのQuiet: The Power of Introverts in a World That Can't Stop Talkingが話題になってから、静かに思索することの価値があらためて見直されている。サイレントエリアとラーニング・コモンズを使い分けたり組み合わせたりしながら、自分らしい学びを築いていこう。

—— 松下佳代（高等教育研究開発推進センター 教授）



ものづくりのプロたちは、製品を作る際に出来具合を検査する「治具」やうまく加工をするための「工具」といった生産のための道具の工夫から始めます。大学での学びも同じことで、学ぶための空間づくりは、学生にとっても教職員にとっても自らの課題として考え続けなければならないことかと思えます。

附属図書館に開設されたラーニング・コモンズはその設計にあたっては附属図書館のスタッフの皆様のほか学術情報メディアセンターにコンテンツ作成共同研究として、またデザイン学大学院連携プログラムにプロジェクト型学習科目の一環として取り上げて頂き共同で行いました。最終的なデザインには工学研究科の大学院生、太田君、北村君の案が採用されています。共同で学ぶための空間づくりが学生、教員、職員の方々による協力で実を結んだことは京大らしいスタートかと思えます。この空間そのものが皆さんの活動でさらに発展してゆくことを期待したいと思います。

—— 喜多一（国際高等教育院 教授）

今回の附属図書館ラーニング・コモンズ開設の特徴は、その空間デザインプロセスに、図書館教職員と図書館所属でない教職員・学生の有志が密接に関わったということ、内装、サインや什器選定などの空間デザインを、設備や建築の専門業者からの提案デザインをそのまま、あるいは改変して完成させるのではなく、自らの協働で手がけたということであろう。

図書館所属でない私がこのデザインプロジェクトに関わったのは、ラーニング・コモンズの設置場所や基本方針が固まりつつある時期に、デザインの過程で学生からの意見も取り込みたいという希望を伺ったことがきっかけである。その後25年度京都大学学術情報メディアセンターコンテンツ作成共同研究として、附属図書館・学術情報メディアセンターが中心となり、デザインスクール、国際高等教育院、高等教育研究開発推進センターといった部局の教員や関連授業の受講学生を巻き込んだデザインプロジェクトとして取り組んだ。

デザインは、方針確認→フィールドワーク（FW）→情報の可視化・コンセプト立案→デザイン案作成→現場調整・施工・発注・購入という流れで進められ、全員が何らかの形で現場や周辺学習環境のフィールドワークとデザイン案の作成・選定まで関わった。FWと振り返りによる気づきの可視化から立ち上がった“小規模でオープンなグループによる活動に適し、館内の他空間とも性質の区分を自然に促すデザイン”というコンセプトがいかに表現されたか、また既存の本棚やレンガの壁、柱、什器などがリノベーション・活用されているところも見所である。

ともあれ学生によって提案された、伸びやかで心地よいこの“学びの実験場”におけるデザイン実験は、利用者とも協働する段階への準備が整ったばかりである。利用者が加わることで結果が出されていく様を見つめていきたい。

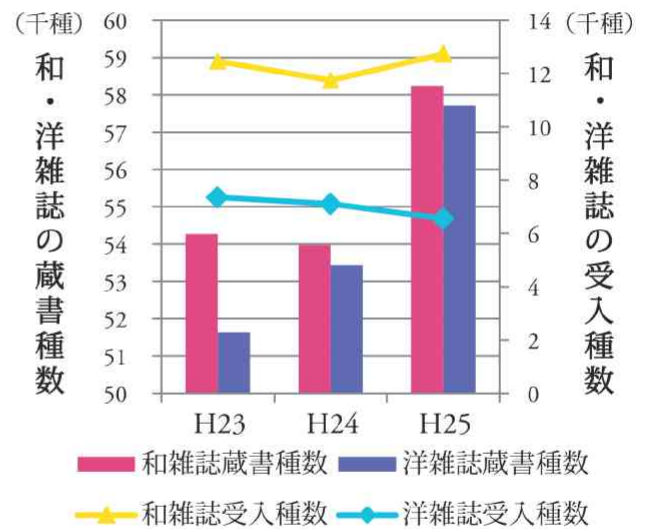
—— 元木 環（情報環境機構／学術情報メディアセンター 助教）

# 京都大学図書館統計

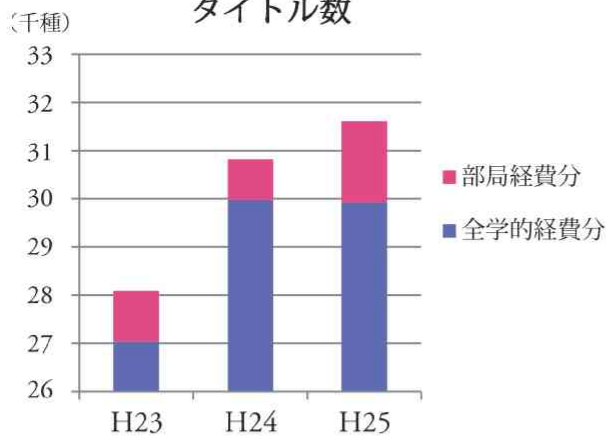
## 和・洋図書の蔵書数と受入冊数



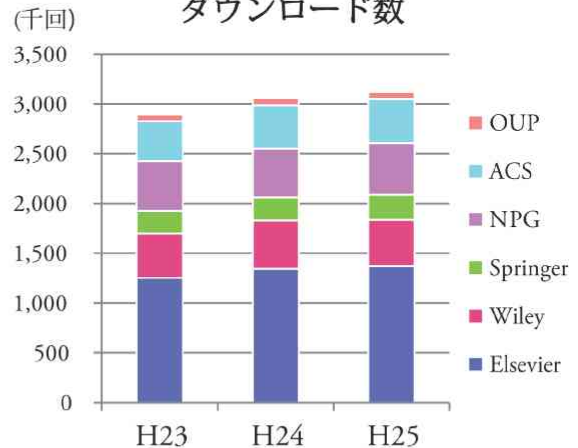
## 和・洋雑誌の蔵書種数と受入種数



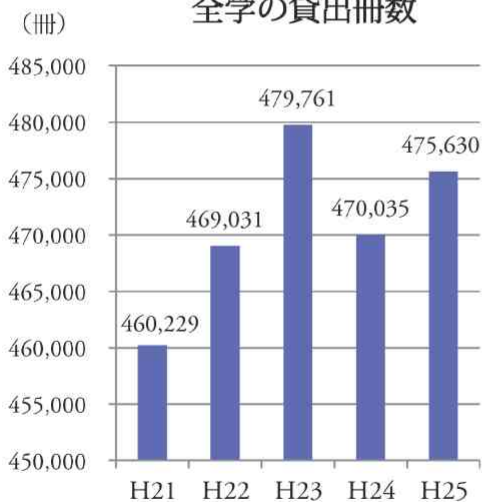
## 電子ジャーナル（外国雑誌：有料） タイトル数



## 主要電子ジャーナルの ダウンロード数



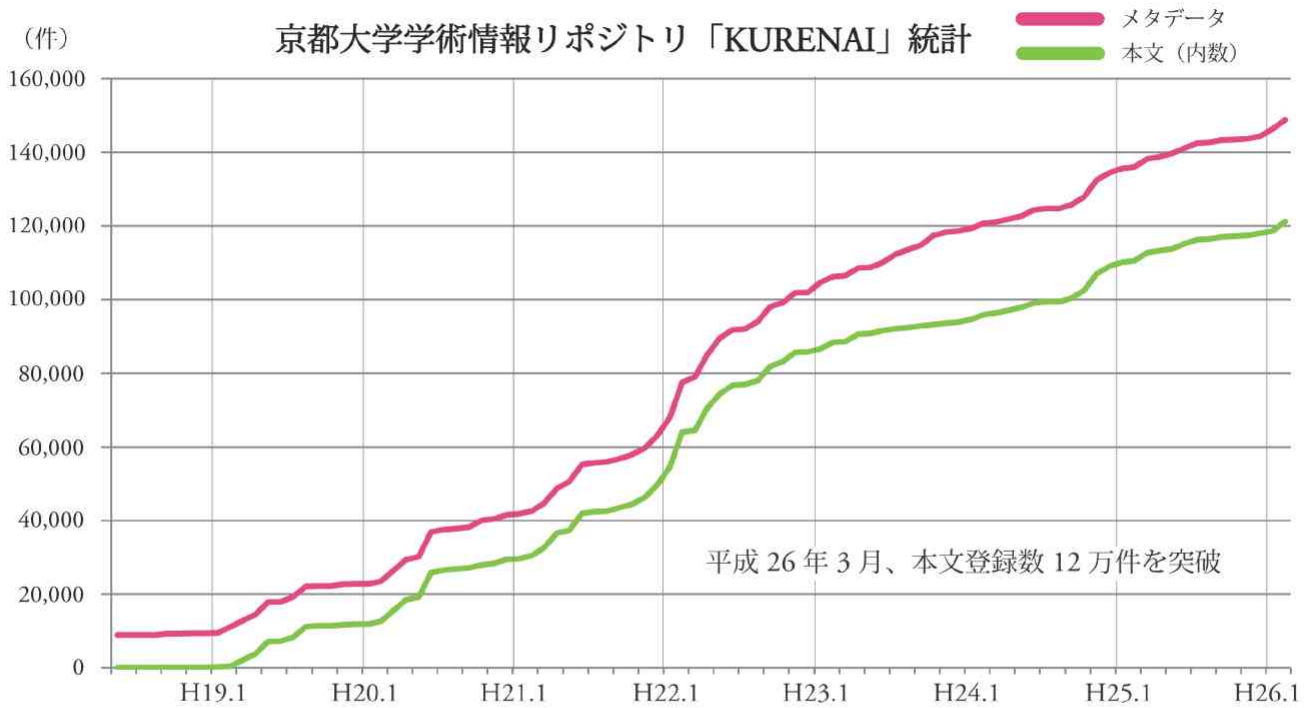
## 全学の貸出冊数



## 主な図書館・室の貸出冊数

	H21	H22	H23	H24	H25
附属図書館	168,880	179,677	190,169	172,296	169,777
文学研究科	77,949	74,569	72,600	69,808	71,609
教育学研究科	9,012	10,639	10,119	11,683	12,616
法学研究科	18,269	15,682	16,709	14,264	15,725
経済学研究科	7,766	14,728	16,041	16,152	18,563
理学研究科	27,137	25,335	24,680	26,604	27,408
医学研究科	11,063	9,036	7,823	7,510	7,036
薬学研究科	1,704	1,609	1,468	1,594	1,363
工学研究科	15,903	15,114	13,774	15,194	15,350
農学研究科	11,419	9,817	10,660	14,572	13,336
人間・環境学研究科	78,232	76,582	78,785	87,245	88,413
合計	427,334	432,788	442,828	436,922	441,196
全学合計	460,229	469,031	479,761	470,035	475,630



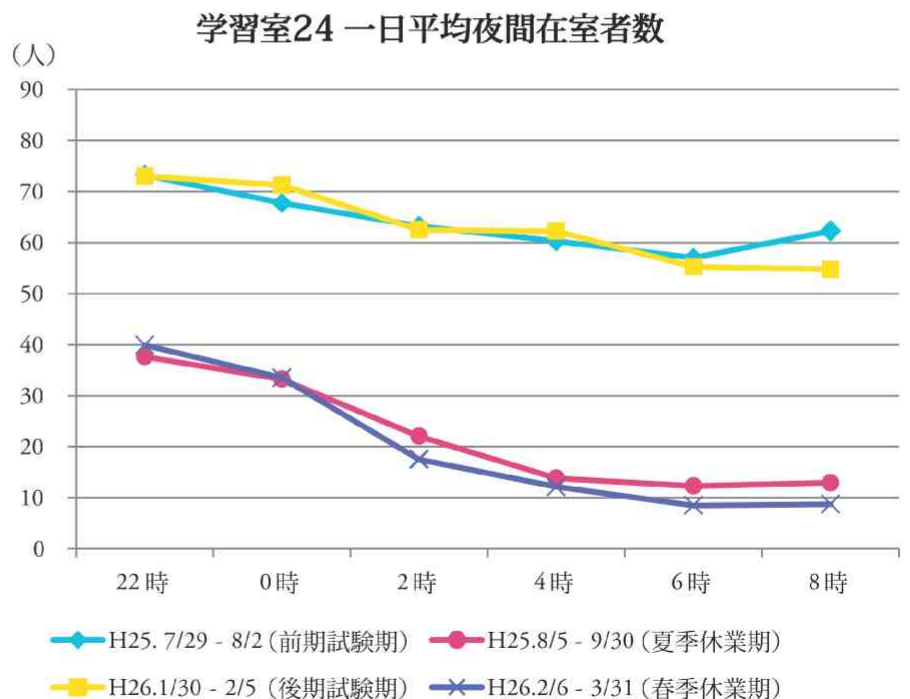
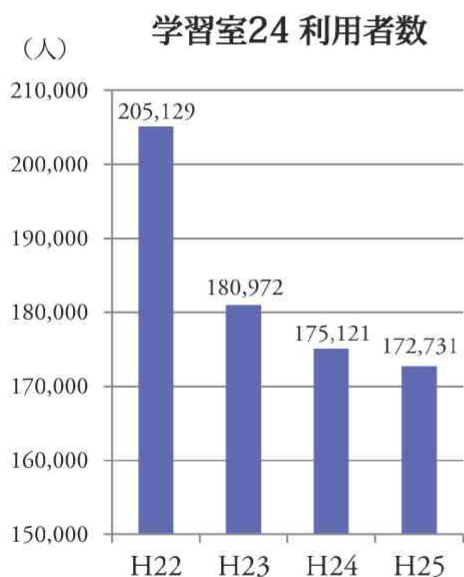


### 「KURENAI」とは？

京都大学学術情報リポジトリのことです。京都大学で日々創造される研究・教育成果（学術雑誌掲載論文、学位論文、紀要論文など）を WEB 上で公開しています。

### 「デリバリーサービス」とは？

希望の図書が学内の遠隔地のキャンパスなどに所蔵されている場合、所属部局の図書館・室へ取り寄せることが出来るサービスです。また、学内の別のキャンパスで借りた図書を最寄りの図書館・室でも返却することができます。



# 平成 25 年度統計

部 局 名	受入冊数			蔵書冊数			目録情報入力冊数累計		
	和書	洋書	計	和書	洋書	計	和書	洋書	計
附属図書館	11,537	2,591	14,128	647,822	263,082	910,904	519,294	236,435	755,729
附属図書館宇治分館	420	803	1,223	13,549	57,562	71,111	12,226	47,845	60,071
文学研究科	10,555	6,208	16,763	671,099	426,403	1,097,502	497,565	414,847	912,412
教育学研究科	4,977	1,097	6,074	104,124	70,903	175,027	102,222	71,200	173,422
法学研究科	4,124	5,456	9,580	310,549	401,418	711,967	266,025	335,586	601,611
経済学研究科	10,712	2,235	12,947	300,377	265,885	566,262	280,466	273,261	553,727
理学研究科	2,401	4,879	7,280	51,448	196,176	247,624	46,638	187,347	233,985
医学研究科	2,536	1,888	4,424	95,460	158,283	253,743	90,865	149,302	240,167
薬学研究科	177	52	229	11,708	22,307	34,015	11,828	22,242	34,070
工学研究科	2,574	1,116	3,690	141,919	198,106	340,025	132,450	184,393	316,843
農学研究科	1,604	811	2,415	142,375	122,254	264,629	132,543	114,940	247,483
人間・環境学研究科	16,881	2,387	19,268	358,967	293,402	652,369	350,574	286,070	636,644
エネルギー科学研究科	67	63	130	4,814	5,438	10,252	4,771	5,461	10,232
アジア・アフリカ地域研究研究科	406	3,281	3,687	14,605	117,771	132,376	14,401	118,176	132,577
情報学研究科	395	463	858	17,798	42,185	59,983	17,807	42,101	59,908
生命科学研究科				24	49	73	24	49	73
総合生存学館	9	74	83	1,703	1,124	2,827	1,700	1,127	2,827
地球環境学堂・学舎	193	294	487	5,265	3,422	8,687	5,144	3,269	8,413
人文科学研究所	4,580	1,407	5,987	510,715	90,711	601,426	263,855	86,196	350,051
再生医科学研究所				442	4,420	4,862	418	4,336	4,754
基礎物理学研究所	183	893	1,076	9,978	82,035	92,013	8,915	80,255	89,170
ウイルス研究所				305	3,343	3,648	298	3,234	3,532
経済研究所	186	415	601	41,435	40,239	81,674	41,447	40,234	81,681
数理解析研究所	76	1,797	1,873	7,600	90,574	98,174	7,534	90,002	97,536
原子炉実験所	259	277	536	15,781	37,700	53,481	15,796	37,674	53,470
霊長類研究所	192	73	265	8,472	18,103	26,575	8,480	18,095	26,575
東南アジア研究所	387	3,714	4,101	29,162	157,804	186,966	27,345	144,086	171,431
生態学研究センター	168	112	280	9,179	6,781	15,960	9,192	6,894	16,086
地域研究統合情報センター	1,520	2,631	4,151	4,866	47,168	52,034	9,607	28,046	37,653
フィールド科学教育研究センター	140	50	190	13,433	8,060	21,493	8,478	7,047	15,525
その他の部局	1,186	1,581	2,767	9,771	7,404	17,175	9,658	6,755	16,413
計	78,445	46,648	125,093	3,554,745	3,240,112	6,794,857	2,897,566	3,046,505	5,944,071
目録情報入力冊数割合							81.5%	94.0%	87.5%

(注) 附属図書館宇治分館は、化学研究所・エネルギー理工学研究所・生存圏研究所・防災研究所の蔵書数等を含めた数。  
医学人間健康科学系の受入冊数・蔵書冊数・目録情報入力冊数は医学研究科に含まれる。

部 局 名	受入雑誌種数			開館日数	入館者数	貸出総数	相互利用			
	総計	うち購入 和雑誌種数	うち購入 外国雑誌種数				現物借用	複写取寄せ	現物貸出	複写提供
附属図書館	1,752	313	387	339	898,376	169,777	861	1,763	1,275	3,554
附属図書館宇治分館	377	68	201	240	14,662	2229	27	84	20	672
文学研究科	3,741	317	658	225		71,609	92	258	478	1,432
教育学研究科	698	110	99	228	16,026	12,616	11	93	78	549
法学研究科	1,141	179	507	267		15,725	13	38		
経済学研究科	1,072	107	190	260	56,203	18,563	18	25		
理学研究科	1,341	96	343	237	68,836	27,408	70	119	56	295
医学研究科	710	70	98	288	67,369	7,036	25	1,236	19	3,390
医・人間健康科学系	182	36	23	215		8,827				
薬学研究科	31	10		238	17,860	1,363	1	28		97
工学研究科	1,084	357	165	232	27,054	15,350	42	176		279
農学研究科	1,807	360	140	239	71,554	13,336	69	248	143	581
人間・環境学研究科	940	265	149	267	236,456	88,413	477	1,027	587	502
エネルギー科学研究科	70	20	12	235	1,585	270	9	14		0
アジア・アフリカ地域研究研究科	213	8	40	231	1,385	2,716	168	79	139	29
情報学研究科	111	60	43	239	12,227	6,321	8	13	3	4
生命科学研究科										
総合生存学館										
地球環境学堂・学舎	36	32	4	226	2,034	1,181	18	51	54	9
人文科学研究所	1,338	96	349	218	5,122	4,464	141	128		390
再生医科学研究所	15		15	240						
基礎物理学研究所	109	14	77	240	1,333	2,197	1		24	67
ウイルス研究所	2	2		241		41				
経済研究所	672	109	284	222	4,750	1,044	5	2	9	29
数理解析研究所	484	23	316	234		2,021		6	9	74
原子炉実験所	129	30	18	239	1,119	348	52	41	44	109
霊長類研究所	92	6	9	244		331	6	22		94
東南アジア研究所	614	2	52	234	2,098	1,650	22	6	104	22
生態学研究センター		3	12	221		256	3	39	3	
地域研究統合情報センター	119	17		220	567	192	38	3	57	16
フィールド科学教育研究センター (上段：森林系、下段：瀬戸臨海)	151 260	40 3	4 14	233 235	453	346				
計	19,291	2,753	4,209		1,507,069	475,630	2,184	5,511	3,103	12,261

目録情報入力された資料はKULINEで検索することができます。

学部・学科、研究室等ごとに図書館・室が設けられており、それぞれに特色ある蔵書を有しています。

空値は、サービスを行っていない、図書館・室がない等の理由によります。



## 図書館・室からのお知らせ

### ■ 「学ぶ楽しみを多くの人に―益軒と京書肆小川柳枝軒―」展 開催中

貝原益軒没後三百年記念の特別展が総合博物館と附属図書館の共催で開催中です。益軒の学びの世界、そしてその著作を多数出版した柳枝軒を取り上げる展示では、附属図書館、文学研究科図書館、農学研究科の資料も出陳されています。

会期：平成26年7月30日（水）～ 8月24日（日）

会場：総合博物館本館 2階展示室

<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/modules/special/>

総合博物館



### ■ 読書会に参加しませんか？

附属図書館

将来リーダーになる君へ―専門外の専門書を読む（京都大学附属図書館&京都大学学術出版会 共同プログラム）として、「文系のための読書会」と「理系のための読書会」が開催中です。詳細は、読書会事務局の案内をご覧ください。

<http://www.kyoto-up.or.jp/jp/rleader.html>

読書会事務局



吉田南総合図書館

世界の古典を集めた「グレート・ブックスコーナー」の図書を対象にした読書会の開催を吉田南総合図書館がサポートします。「グレート・ブックスコーナー」の紹介と開催への応募方法は、吉田南総合図書館の案内をご覧ください。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/yoshidasouthlib/greatbooks/index.html>

グレート・ブックス



### ■ 「図書館向けデジタル化資料送信サービス」が利用可能に！

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料について、附属図書館でデジタル画像の閲覧と複写ができます。

[http://www.3.kulib.kyoto-u.ac.jp/guide/jpn/guide\\_jp\\_ndldigital.html](http://www.3.kulib.kyoto-u.ac.jp/guide/jpn/guide_jp_ndldigital.html)

附属図書館 HP



### ■ 夏季休暇中の開館時間は？

図書館機構ホームページ右上の「開館日程」から、各図書館・室の開館情報を一覧できます。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/piCal/index.php?&smode=&op=&cid=1>

図書館機構 HP



### ■ 情報学研究科図書室第2書庫がリニューアルオープン

第2書庫が工学部1号館へ移転し、リニューアルオープンしました。

第2書庫資料を利用される場合は、情報学研究科図書室で所定の手続きが必要です。

京都大学図書館機構報「静脩」(ISSN 0582-4478)

Vol. 51 No. 2 (通巻182号) 2014年7月31日発行

編集：「静脩」編集小委員会(責任者:附属図書館事務部長)

発行：京都大学図書館機構

京都府京都市左京区吉田本町36-1

TEL 075-753-2613

URL <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

表紙題字：附属図書館所蔵 西園寺公望公揮毫

### 今月の表紙

今月の表紙はできたてホヤホヤの附属図書館ラーニング・コモンズ完成直後の写真です。居心地の良い、学生のための学生による空間デザイン。利用者の皆様に長く愛される場所へと成長しますように……。

